



地盤工学セミナー講演会のお知らせ

主催： 公益社団法人 地盤工学会北陸支部
 支部長 大塚 悟

貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より当学会行事にご協力賜り、ありがとうございます。今回は、『最新の液状化判定法と液状化対策について』と言うテーマのセミナー講演会を企画いたしました。実務に携わっている民間の技術者はもちろんの事、発注機関の技術職員の方にも大変有意義な内容となっております。多くの皆様のご参加をお待ちしています。また、講演会終了後、皆様の親睦もかねて懇親会を予定させていただいております。多数のみなさまの参加をお願いいたします。

記

- 日 時：平成 28 年 10 月 18 日（火） 15 時 00 分～17 時 30 分
- 場 所：(株)興和ビル 10 階 会議室 新潟市中央区新光町 6 番地 1 (<http://www.kowa-net.co.jp>)
 TEL 025-281-8815 担当 高橋
 (公共交通、またはコインパーキング等の駐車場のご利用をお願いします。)
- 内 容： 液状化の被害が発生した新潟地震から 40 年以上が過ぎ、地下水位の高いきれいな砂質地盤だけでなく、シルトなど中間土や比較的密な砂地盤でも液状化被害が発生しています。1995 年の兵庫県南部地震は地震動が強い直下型地震、2011 年の東北地方太平洋沖地震は継続時間が長いプレート境界型地震が発生し、沿岸域のみならず内陸でも液状化被害が発生しました。今度も発生が懸念されている極大地震に対して、継続時間の影響を考慮した液状化判定法が提案されて、より安心・安全な社会を目指して研究がすすめられています。
 一方、液状化判定の高度化とともに、現在では様々な液状化対策工法が開発されてきています。本講演会では、既存構造物の液状化対策工法も数ある中で、格子状地盤改良工法を取り上げます。兵庫県南部地震では本工法を行った建物は液状化の被害を受けることなく現在まで共用されています。
- 参加費等：1,000 円（資料代） CPD 単位 2.5 単位
- 懇親会費：3,000 円
- 定員：100 名

プ ロ グ ラ ム

開会挨拶	15:00～15:10
地盤工学会北陸支部 支部長 大塚悟	
講演	
1. 題目： 最近の液状化被害と継続時間を考慮した液状化判定方法	15:10～16:15
講師： 山崎 浩之 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹	
2. 題目： 液状化対策技術の進展 ～格子状地盤改良工法を例に～	16:15～17:20
講師： 平井 芳雄 (株)竹中工務店 技術研究所 地盤・基礎部長	
閉会挨拶	17:20～17:30
地盤工学会北陸支部 副支部長 金子敏哉	
懇親会	17:30～

申し込み：ファックスまたは e-mail で、氏名、所属、電話番号、(e-mail アドレス)
 会員／非会員の別、交流会参加の有無をご記入のうえ、下記へお申込みください。
 公益社団法人 地盤工学会北陸支部（事務局 佐藤）
 〒950-0965 新潟市中央区新光町 10 番地 3 技術士センタービル II 7F
 Tel/Fax：025-281-2125 e-mail：jgskoshi@piano.ocn.ne.jp
 申込締切日 平成 28 年 10 月 11 日

地盤工学セミナー講演会 参加申込欄（切り取らずお使いください） 宛先：FAX 025-281-2125

お名前： _____ 会員 非会員

所属： _____

連絡先住所： _____

連絡先 TEL： _____ Email： _____

懇親会への参加： 参加する 参加しない